

教員会議（2010）・研究科委員会（545回）議事要録

日 時：令和2年11月11日（水）13時30分～15時55分

場 所：L-2教室

※教員会議開始前に学類・研究科FD推進会議が開催された。

【確認事項】

「教員会議（2009）・研究科委員会（544回）」の議事要録(案)について、確認された。

◆教員会議◆

【審議事項】

1. 人事について：

(1) 今後の人事計画について

学類長から、教員会議第2008回で認められた人事計画について、11月10日開催の教育研究院会議で承認されたので、具体的な人事を進めてもらいたい旨報告があり、会議で出された主な質問や意見について、①専任講師の採用について学内に関連分野の教員がいる状況で専任を採用することには大学としてその分野を強化し強みを出すとの意図があると考えてよいか。②任期付き専任講師採用の可能性は検討したのか。③専任講師の採用の時期について4月採用は時期的に大丈夫なのか、応募の見込みはあるのか。④第4期の採用について人事凍結の可能性もある。等の報告があった。

(2) 教員の任用について（資1）（調査委員会設置の発議）《投票》

〈地域文化創造専攻（領域G、保体科教育分野）〉

選定委員の安田教員から、選定の経過と結果について資料に基づき説明があり、D氏の資格調査委員会の設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から安田、当該領域から小川、当該領域以外の領域から高田、森本の各委員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、杉浦教員を選出することとなった。

(3) 特任教員の任用について（採用の発議）（資2一回収）《投票》

〈地域文化創造専攻（領域B、保育内容分野）〉

原野資格調査委員から、審査対象者のA氏について、研究業績及び教育能力の両面についての審査内容の報告があり、審査結果を総合的に判断して、適格者とする結論に至った旨の説明提案があり、承認された。次いで、資料に基づきA氏（齋藤 美智子氏）の経歴・研究業績の報告があり、投票に移ることを提案があり、承認された。

投票の結果、投票総数47票、賛成47票、反対0票、無効0票、白票0票で特任教授として採用することが、承認された。

2. 教務委：

(1) 令和2年度非常勤講師計画の変更について（資3）

杉浦委員から、標記について資料に基づき変更点の説明提案があった。また、新規採用で大学での講義経験のない者について、担当講座より経歴・推薦理由について資料に基づき説明があり、承認された。

- (2) 芸術・表現コースのコース専門プログラムの変更について（資4）
杉浦委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

3. 研究教育支援委：

- (1) 「福島大学人間発達文化学類論集」編集細則の改正について（資5）
松下委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

【報告事項】

1. 教育研究評議会：第344回(11/10) 資料：「教職員専用総合案内を参照」

(審議事項)

- (1) 教員人事について
(2) 大学院の改革について 【意見聴取】（〆切11/12(木)正午まで）

(報告事項)

- (1) 福島大学及び桜の聖母短期大学による大学入学共通テストの実施に関する協定書の締結について

2. 危機対策本部会議：

学類長から、第40回の会議内容については、現在書面審議中のため次回報告する旨発言があった。

3. 教務委：

- (1) 教員免許状・日本語教員養成課程登録説明会の開催について（資6）
杉浦委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

- (2) 非常勤講師計画作成要領の改正について（資7）
杉浦委員長から、標記について資料に基づき改正点の説明報告があり、了承された。

- (3) 2021年度開講計画の策定にあたって
半沢委員から、全学教務協議会において示された標記策定方針について、今年度後期の形態で来年度も実施して行く等、要点の報告があり、了承された。

4. 学類長：

- (1) 学類人事委員会委員の選挙について（資8）
学類長から、学類人事委員会の確認に基づき選挙方法等の説明があり、同委員の選挙を12月9日（水）9:00～14:30に事務室協会議室にて行う旨の報告があり、了承された。

- (2) 令和2年12月期の勤勉手当優秀者について
学類長から、標記について対象者（勤務成績が特に優秀な職員3名、勤務成績が優秀な職員15名）を学類人事委員会に提案し了承を得た旨の報告があり、了承された。

- (3) 令和2年12月期の期末・勤勉手当加算措置対象者について
学類長から、標記について対象者（5級8名、4級5名）を学類人事委員会に提案し了承を得た旨の報告があり、了承された。

- (4) 令和3年度外地派遣研究員の再募集結果について
学類長から、標記について10月末まで申請を延長して受け付けていたが、応募者がなかった旨報告があった。

- (5) 奨学寄附金の受入れについて
学類長から、標記について以下のとおり報告があった。

①鶴巻正子 寄附者：鶴巻正子 300,000円

目的 発達障害幼児を対象とした発達支援や学習支援に関する研究促進のため

◆研究科委員会◆

【審議事項】

1. 教務委：

(1) 研究指導教員の変更について（資 9）

杉浦委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

(2) 大学院長期履修学生の履修登録希望単位数について（資 10）

杉浦委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

【報告事項】

1. 教務委：

(1) 大学院生の学類開設科目履許可について（資 11）

杉浦委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

（アナウンス）

①授業欠席にかかる申請について（教務委）

標記について、学生が風邪症状により授業を欠席する場合の手続き方法のアナウンスがあった。

②学修案内、開講科目一覧の印刷について（教務委）

標記について、来年度以降の印刷は行わず、ホームページに掲載されている Web 版に一本化されるとのアナウンスがあった。

③令和 2 年度の予算早期執行への協力依頼について（研究教育支援委）

標記について、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、例年のような出張等がなく残額が予想されるので、エアコン等研究室内の備品類更新など検討のうえ、早期執行にご協力願いたい旨アナウンスがあった。

なお、予算の振り替えについて、学類内で可能である旨の補足があった。

※次回の教員会議は、令和 2 年 11 月 25 日（水）12：10 から開催することとした。